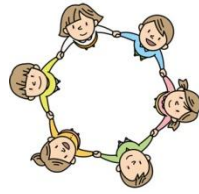


# 心の輪21R



『路上に散った正義感』という資料を通して、  
『強い正義感』について考えました！

119番通報男が犯人

けんか、会社員死なす 逮捕

## 若い正義感、路上に散る 強盗追い2学生死傷

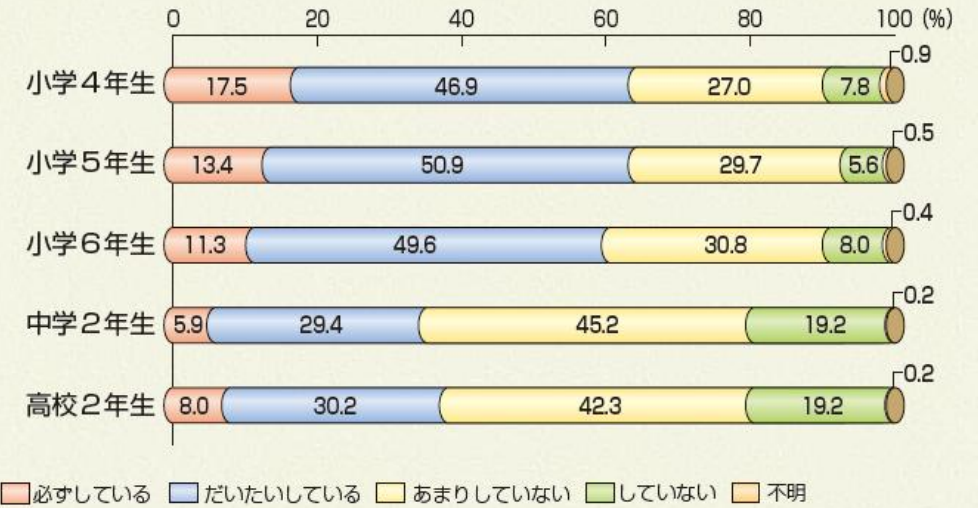
深夜、二階から事件を目撃

犯人が刺して逃走 交番目の前、警官不在

横浜

男性が金をあとと取られていた現場

「友達が悪いことをしていたら、やめさせること」  
■あなたはどのくらいしていますか。



国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査」(平成22年度)

文部科学省資料  
『心のノート』P.162より引用



上のグラフを見ると、学年が上がると、友達が悪いことをしていたらやめさせる人の割合が減ってきていることが分かる。止めなければいけないのは分かっているのに止められなくなるのはどうしてだろう？どうすれば止められるようになるのだろうか？



最大の悲劇は、悪人の暴力ではなく  
善人の沈黙である。  
沈黙は暴力の影に隠れた同罪者である。  
マーティン・ルーサー・キング (キング牧師)

学生2人が犯人に刺され、1人が殺され、1人が重傷を負ったことは、とても悲しく、理不尽だと思った。学生4人の正義感溢れる行動をする人が増え、自分もできる人になりたい。

日本は他の国よりも安全であるが、困っている人がいたら助けてあげようとする正義感を持っている人は少ない。だから僕は、「正しいことは正しい」と言える世界を創り上げていきたいと思う。

私も生活の中で、『見て見ぬ振り』をしたことがあると思います。私は一人一人が「正しいことは正しい」「悪いことは悪い」と言える社会にしたいので、これからは『見て見ぬ振り』をせず、はっきりと正しいことを言うようにしたいです。

これからは先を読んで行動し、正直に生きていこうと思った。『知らん振り』『見てない振り』などはやめていきたい。そして、ダメなことをしている人は注意をしたい。

目の前で事件が起きたら、多分、私は通報すると思います。しかし、学生たちは犯人を捕まえようと正義感のある、とてもすごい行動とったので、私の周りで困っている人がいたら、見て見ぬ振りをせず、助け合う温かい心を持ちたいです。

私はこの時間で、正義感があって自分から行動できる人は格好良いなと思いました。私は、この世界には汚い心を持った人が増えているから、もっと多くの人がこの学生のように正義感を持って欲しいと思いました。

自分はこの話を聞いて、確かに勇気のある行動だったけれど、結局は、財布は盗られて、一人は死んで、もう一人は重傷で、あまり良い結果にはならなかった。他の人が何もしなかったのが悪いと思った。

今日、私がこの時間で学んだことは、もちろん犯罪は十分悪いことだけれど、知らん振りや無視は犯罪をした人と同じくらい悪いということです。これから、もし、そういう場面に出会った時は、通報などして、その人を助けたいです。

私も、見て見ぬ振りをしている時があると思います。でも、この学習を通して、理由はどうであれ、知らない人でも困っていたのなら、助けてあげなければならないと、私は感じました。これからは、今までよりもたくさんの人を助けられたらいいなと思います。

いざ、目の前で事件が起こった時、「助けられるか？」と言われてたら、私は、きっと答えられないと思います。多分、多くの方はそうだと思います。でも、今の社会には『正義感』が必要です。『見て見ぬ振り』をせず、『強い正義感』を持てる人間になりたいと心から思いました。

私は今日の授業を通して、この事件が起きた年と今の日本の状況は、一緒だと思いました。なぜなら最近、事件が起きてても他人事だと考えている人がいると思うからです。事件に出くわしていなくても、同じ国の中で起きた事件のことは考えないといけないと思いました。だから、少しずつ自分たちの国で起きた事件に関心を持っていかないといけないと思います。

今日は『正義感』についてしました。最近、「自分たちが助けに行く」という感じがなくなってきているのに、学生たちが起こした行動はすごいと思います。なかなか、そういう状況にあって、被害者じゃなかったら、すぐには追いかけれないと思います。僕は今後、『見て見ぬ振り』をすることは、やめようと思います。「正しいことは正しい」と言えるようになりたいです。

私は、もし、この事件が目の前で起こっても、学生たちがとった行動はできないと思う。でも、目の前で嫌な思いをしている人がいたら、見て見ぬ振りをせず、助けてあげたいと思った。

私も、見て見ぬ振りをしている時があると思います。でも、この学習を通して、理由はどうであれ、知らない人でも困っていたのなら、助けてあげなければならないと、私は感じました。

見て見ぬ振りをせずに、強い正義感で犯人を追った青年たちはすごいと思うし、人を簡単に殺してしまう犯人は許せないと思った。人が困っていたら、「助ける」「助けたい」の気持ちが大切なんだと思った。

「他の人のことなんてどうでもいい」ではなくて、自分のことも大切だが、相手のことを考えて行動できる人が増えることを願う。自分は人のために動いていないので、相手のことを考えて行動しようと思った。女子高校生は「自分さえ良ければそれでいい」という考えを無くして、他の人のためにできることを考え、行動して欲しいなということを伝えたかったんだと思う。

この学生の勇気や想いを無駄にしてはいけないと思った。この事件から学んだ『助け合いの大切さ』を、自分自身、これからの人生で役立てていきたい。